

柔道整復師の施術を受ける人へ

柔道整復師(整骨院・接骨院)から、急性的で外傷性のけが(骨折、脱臼、打撲、捻挫、肉離れなど)や痛みに対しての施術を受けたときは、健康保険の対象になります(骨折、脱臼は応急処置を除いて、あらかじめ医師の同意が必要)。ただし、次のような場合は健康保険が使えませんのでご注意ください。

健康保険の対象にならないものの例

- 疲労や慢性的な要因からくる肩凝りや筋肉疲労など
- 病気(内科的原因による疾患)による凝りや痛み
- 脳疾患後遺症などの慢性病や症状の改善がみられない長期の施術
- 保険医療機関(病院、診療所など)でも同じ箇所を治療している負傷など
- 労災保険が適用される工作中や通勤途上での負傷

注意事項

- ◆ 交通事故など第三者行為に該当する場合は、保険医療助成課へ連絡してください。
- ◆ 外傷性の負傷でない場合は健康保険が使用できませんので、負傷原因を正確に伝えてください。
- ◆ 施術が長期にわたる場合、内科的要因も考えられますので、医師の診断を受けましょう。
- ◆ 領収書を必ずもらって、金額を確認しましょう。
- ◆ 柔道整復は、施術を受けた人が柔道整復師に受領委任することで自己負担分のみを支払い、残りの費用を柔道整復師が健康保険に請求することが例外的に認められています。受領委任には施術を受けた人の自筆の署名が必要です。白紙の用紙に署名するのは、間違いにつながる恐れがありますので、柔道整復施術療養費支給申請書の内容をよく確認してから署名してください。
- ◆ 柔道整復師への適正な支払いのため、治療内容などの調査が必要となる場合があります。津市国民健康保険から施術を受けた人に、負傷原因、治療年月日、治療内容などを文書で照会する場合がありますので、ご協力ください。照会がありましたらご自身で回答書に記入してください。

国民健康保険の届け出は必ず14日以内に

世帯主による届け出の義務

加入や喪失(離脱)、世帯の分離や合併など、家族の中で国保の資格に異動がある場合は、その事実が発生してから必ず14日以内に、世帯主または家族が届け出をする必要があります。

国民健康保険を喪失する人へ

会社に就職したり、扶養に入ったりしたときは、新しい保険証が届き次第、速やかに国保喪失の届け出をしてください。

注意事項

- ◆ 14日を過ぎて国保加入の届け出があった場合、保険料は資格取得した月の分までさかのぼって納付していただくこととなります。また、届け出が遅れたことにやむを得ない理由があると認める場合を除き、届け出日の前日までに医療費がかかった場合は全額自己負担となります。
- ◆ 国保喪失の届け出をするまでは、保険料が賦課されたままになっています。勤務先からの通知や手続きはありませんので、必ず個人で国保をやめる届け出をし、遅れたり、届け忘れたりしないようご注意ください。
- ◆ 国保の資格は、新しい健康保険の加入日(認定日)で喪失します。資格を喪失した後に国民健康保険被保険者証(以下、国保の被保険者証という)を使用した場合は無効となります。誤って使用したときは、市から医療機関などへ支払った医療費を請求する場合がありますので、ご注意ください。

このようなときは届け出を

	このようなとき	届け出に必要なもの
加入	転入したとき	印鑑
	他の健康保険を離脱したとき	印鑑、健康保険の離脱(資格喪失)証明書または離職票
	子どもが生まれたとき	印鑑
	生活保護法の適用を受けなくなったとき	印鑑、生活保護廃止証明書
喪失	日本在留期間が3カ月を超えていて、津市で住民登録をしたとき	在留カード・特別永住者証明書・外国人登録証明書のうちいずれか1つ、パスポート
	転出するとき ※修学または施設入所のため住民票を異動する場合は、継続して加入できますので、在学・入所を証明する書類を添えて届け出てください。この届け出をせずに転出した場合、国保の資格を喪失する場合があります。	印鑑、国保の被保険者証
	他の健康保険に加入したとき	印鑑、国保の被保険者証、他の健康保険の保険証
	死亡したとき	印鑑、国保の被保険者証
加入中の手続き	生活保護法の適用を受けたとき	印鑑、国保の被保険者証、生活保護開始証明書
	住所、氏名、または世帯主が変わったとき	印鑑、国保の被保険者証
	世帯を分離または合併したとき	印鑑、国保の被保険者証
	修学または施設入所のため市外へ住民票を移すとき	印鑑、国保の被保険者証、在学・入所を証明する書類
	国保の被保険者証を紛失したり、汚れて使えなくなったとき	印鑑、使えなくなった国保の被保険者証、本人を証明するもの

- 世帯主および被保険者のマイナンバーを記載する必要がありますので、個人番号カードまたは通知カード(通知カードの場合は、運転免許証やパスポートなど本人確認ができるものも必要)をご用意ください。
- 家族がすでに国保に加入している場合は、その被保険者証も必要になる場合があります。